



甲州市「宇宙の学校」通信

vol.1



日 時：平成26年 6月22日（日）午前10時～正午

場 所：塩山ふれあい館

講 師：並木道義さん（JAXA宇宙教育センター講師・KU-MA理事）

参加者：市内小学1～4年生親子30組（約60名）

協力者：一般ボランティア（10名）・塩山中学校科学技術部（18名）

日川高校SSH（スーパーサイエンスハイスクール）コース（62名）

内 容：開校式・宇宙のお話・実験「みんなで熱気球を作って打ち上げよう」

開校式・保坂一仁教育長あいさつ



開校式・並木先生による「宇宙のお話」



小惑星探査機「はやぶさ」の回収に携わった並木先生によるお話では、はやぶさが小惑星イトカワの微粒子を持ち帰った際の様子や宇宙の仕組みなどについて説明していただきました。



☆いよいよ実験スタート☆



各グループにボランティアが入り、親子みんなで協力し大きな熱気球をつくり
ます。4つのグループでそれぞれ1つのオリジナル熱気球を作ります。

ビニール袋を切り、セロハンテープで
つなげ、4倍の大きさにします。



ききゅう うちゅう かか
●気球と宇宙の関わり

ききゅう ひこうき たか じんこう
気球は、飛行機より高く、人工
えいせい ひくこうど ちょうじかん
衛星よりも低い高度に長時間に
わたり滞在できる唯一の飛翔体
たいざい ゆいいつ ひしょうたい
として、うちゅう ちきゅう かんそく もち
宇宙や地球の観測に用い
られてきました。

かがく かんそく たいせつ
科学観測のための大切な
ひしょうたい ひと
飛翔体の一つです。



大きな1つの袋になったら、それぞれ好きな絵を描いていきます。
宇宙に一つだけの気球ができあがります。



みんなで作った熱気球が完成しました！！





日川SSHグループの熱気球もできました。



さあ、いよいよ打ち上げです！

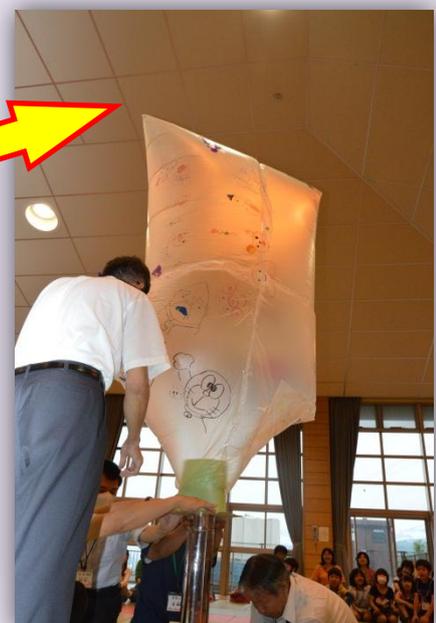


発射台

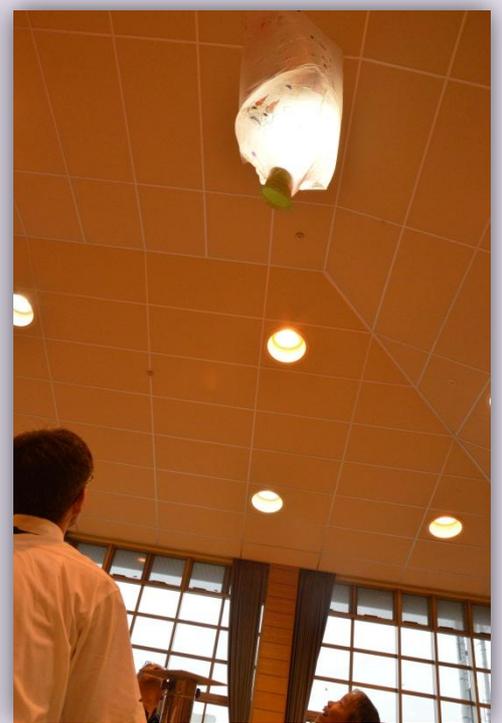
発射台を使い気球に熱い
空気を入れると、だんだん気
球がふくらんでいき・・・

40秒ほどでパンパンに
なりました。

発射まで「3・2・1」
手を離すと???



見事に打ち上げられました！！



熱気球が打ち上がると、会場から拍手と歓声が沸き起こりました。
本日は6機打ち上げ、見事に全ての熱気球が打ち上がりました！



●なぜ、^{ねつききゅう}熱気球は浮くのか？

^{くうき}空気や^{みず}水は、^{あたた}温まると^{かる}軽くなって^{じょうしょう}上昇するのです。^{ねつききゅう}熱気球はその^{せいしつ}性質を
^{りょう}利用しています。^{あたた}暖かい^{くうき}空気をつめて、^う浮き^あ上がらせるのです。
だから、^{あたた}温まった^{くうき}空気がだんだん^ひ冷えて^{じかん}時間が経つと^{ねつききゅう}熱気球が^お落ちてくる
のです。



全体



参加親子

ボランティア



第1回目の「宇宙の学校」にはこんなにたくさんの方々が参加して下さいました。

皆様、ありがとうございました。

次回は7月27日(日)で、「傘袋ロケット」と「風見鶏」の実験をします。 お楽しみに♪